

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 1 区分
【発行日】 令和 5 年 12 月 21 日 (2023.12.21)

【国際公開番号】 WO2022/202692
【出願番号】 特願 2023-509141 (P2023-509141)
【国際特許分類】
H01M50/342(2021.01)
【FI】
H01M50/342101

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 7 月 31 日 (2023.7.31)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0025
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0025】

外装缶 16 の上部には、円筒外周面の一部をスピニング加工して径方向内方側に窪ませた溝入部 22 が設けられ、また外装缶 16 の開口端には、環状のかしめ部 31 が設けられている。側壁部 29 は、電極体 14 と非水電解質とを収容し、かしめ部 31 は、側壁部 29 の開口側の端部から径方向の内方側に折り曲げられて径方向の内方側に延びる。封口体 17 は、かしめ部 31 と溝入部 22 の上側とでガスケット 28 とともに挟持されて外装缶 16 に固定される。外装缶 16 の底部 30 には、後述するガス排出弁 40 が設けられている。

20

【手続補正 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0038
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0038】

平坦部 34 は、残肉厚み d2 が底部 32b の残肉厚み d1 以下になるように形成されている。これによって、電池の内圧が高くなったとき、底部 32b よりも先に平坦部 34 を破断させることができる。平坦部 34 に破断部分が形成されると、そこから破断部分が底部 32b へと拡大していき、溝 32 が破断してガス排出弁 40 全体が機能する。より確実に底部 32b よりも先に平坦部 34 を破断させるためには、上記のとおり、平坦部 34 の残肉厚み d2 が、底部 32b の残肉厚み d1 より小さく形成されていることが好ましい。

30

40

50